

令和7年度

3向小だより



令和7年12月24日

3向小
オリジナル
キャラクター
「まがたん」



冬休み号

向日市立第3向陽小学校

075-932-1003

URL: <https://www.kyoto-be.ne.jp/3kouyou-es/>
e-mail: 3kouyou-es@kyoto-be.ne.jp

目指す子ども像

- ◇ 自ら進んで学ぶ子
- ◇ 様々な人とつながる子
- ◇ 元気でたくましい子

巻き寿司の青

校長 中西 優子

先日、知り合いとの食事中に「巻き寿司の青（緑）は、昔は三ツ葉だったけれど、最近は専らきゅうりが入っていることが多い」ということが話題になりました。私は京都府内の出身ですが、子どもの頃、村の祭りと言えば巻き寿司や鯖寿司が振る舞われ、確かに巻き寿司には三ツ葉が使われていました。数十年前までは、乙訓でも三ツ葉が主流だったということも聞きました。今でもそのように作られているご家庭もあるでしょう。各地域や家庭で受け継がれている様々な習俗や食文化など伝統文化というものは、時代とともに様々に変化をしていきます。幼い頃から食べ慣れたものを食すと、食べ物そのものの記憶と関連付けて、当時の様々な思い出が懐かしくよみがえります。最近なかなか見かけなくなり（手作りすればよいのですが・・・）手に入らないことに少し寂しさを感じて、3向小校区の近隣地域ではどうだろうと、ふと気になりました。

本校では、例年地域の方々の協力を得て、しめ縄作りに取り組んでいます。地元の農家が伝統的に守ってこられた行いで、新年に神様を迎えるためのものですが、指導に当たっては宗教的な意味づけを強要することなく、地域の人々の大切な伝統として子どもたちが体験的に学ぶ機会としています。（先日も5年生の体験活動でしめ縄を絢（な）い、水引で飾り、子どもたちが思い思いの言葉を添えて仕上げていました。「ふるさとまつり」でも、わら細工として、全校の子どもたちが地域の方からご指導いただきました。）正月、ご家族で新年を迎えられるにあたって、是非、地域や家庭で引き継がれている伝統について、子どもたちに話してやってください。その中に込められた先人の思いを肌で感じる事ができれば、子どもの心の中にアイデンティティとも言えるような何かが芽生えるきっかけになるのではないのでしょうか。

※三ツ葉は、巻き寿司以外にも様々な料理に使われます。彩りや香り付けとともに茎を結んで提供し「結ぶ」という縁起物の意味をもたせる場合もあるそうです。

後になりましたが、保護者・地域の皆様には、本校教育活動へのご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。一年を締めくくるにあたりまして、改めて深く御礼申し上げます。

皆様にとりまして、来る令和8年（2026年）が良き年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

まがたんの教えて3向小！【東土川西遺跡】

ひがしつちかわにしいせき

1本の木をくりぬいて舟を作るなんてむかしの人はすごいなあ。この舟にのっていっぱい魚をとっていたのかな？



むこうまちえきなんとうが しゅうらく いせき ひがしつちかわにしいせき いせき
JR向日町駅南東部の集落の遺跡を「東土川西遺跡」といいます。この遺跡
じょうもんじだい お ごろ まるきぶね ぼん き ふね
からは、縄文時代終わり頃の丸木舟（1本の木をくりぬいてつくった舟）が
はっけん かせん いどうしゅだん さかな と つか
発見されています。河川での移動手段や魚を捕るために使ったのでしょうか。
だい3こうようしょうがっこうしゅうへん むかし ひと いとな ぼしよ はっくつ
第3向陽小学校校区周辺は、昔から人の営みがあった場所であり、発掘
ちやうさ み どうじ ひとびと く
調査で見つかったものから、当時の人々の暮らしぶりを
そうぞう
想像することができます。

はっくつ まるきぶね いちぶ
発掘された丸木舟の一部→



1月の主な行事予定 ※()は学年です。		
7	水	始業式【下校11:30】
8	木	短縮4校時【下校12:10】
9	金	給食開始【下校13:20】 こころの劇場(劇団四季鑑賞)(6) ※1
13	火	中学校制服採寸/体操服採寸(6)
15	木	Nidec 出前授業(6)
19	月	百人一首大会(4)
22	木	琴体験出前授業(4) くらしの道具展見学(3) チャレ学(1,2)
23	金	チャレ学(3~6)
26	月	クラブ活動
28	水	全学年4校時授業【下校13:20】 (教職員研修のため)
29	木	昔あそび体験(1) チャレ学(1,2)
30	金	チャレ学(3~6)

※1 6年生「こころの劇場」鑑賞

公演終了が12:30の予定ですので、下校が遅くなります。詳細は、学年だよりにてご確認ください。

【冬休みの過ごし方について】

年末年始は、いろいろな過ごし方をされることと思います。家族の一員、地域の一員、社会の一員として、みんなが快適に過ごせるように学校でも指導していますが、ご家庭でも話題にいただき、声かけをお願いします。

冬休みの過ごし方について気を付けたいことを、地区集会の日に『冬休みのくらし』として配付しております。参考にしてください。

【向日市立小中学校「ふるさと学習成果展」】

市内各校で実施している「ふるさと学習(地域の歴史や文化に関わる学習)」の成果を展示します。



◎場所:向日市立文化資料館 1階ラウンジ

◎会期:12月25日(木)~1月12日(月・祝)まで

※会期中の休館日:毎週月曜日(ただし1月12日《成人の日》は開館)、年末年始(12月28日~1月5日)

◎お問い合わせ先:向日市役所 学校教育課

※本校からは、4,6年生代表の作品が展示されています。

【学校業務休止日について】

12月28日~1月4日までは、学校施設を閉鎖します。業務休止中に事故等、緊急に連絡が必要な場合には市役所に一報ください。

緊急連絡先:向日市教育委員会 学校教育課
(☎ 075-931-1111(代表))

【「全国学力・学習状況調査」(6年生)の結果報告】

4月に6年生を対象に実施しました全国学力・学習状況調査(国語、算数、質問紙)の結果から、本校の特徴的な傾向をお知らせします。

国語科では、「読むこと」において、高い正答率が見られました。文章全体の構成を捉えて要旨を把握することや、目的に応じて、文章や図表を結び付け、必要な情報を読み取る力が身に付いています。一方、条件に合わせて文章を書く問題では課題も見られました。

これからの社会では、様々な情報の中から必要な情報を取り出したり、情報同士の関係を整理したり、発信したい情報を多様な手段で表現することが求められています。授業の中でも、自分がもつ情報を整理し、分かりやすくまとめることで、考えを表現する経験を積み重ねていきたいと考えています。

算数科では、立式して答えを求めるといった基本的な「数と計算領域」や、「データの活用」で高い正答率が見られました。一方で、求め方を記述で表現する問題や、分数を単位分数の幾つ分で捉えているかを見る問題には課題も見られます。

また、今年度は、理科の調査も行われました。問題を解決するための実験方法を正しく考えたり、実験結果から考察したりしながら解決する問題では高い正答率が見られましたが、一方で、顕微鏡の使い方など基本的な知識に関する問題では課題も見られます。

知識には、公式を使って計算することや、言葉や手順を知っている等の「できる知識」と、概念も含めて理解している「分かる知識」があるとも言われています。「計算ができるようになること」も勿論大切ですが、授業の中で考え方を表現したり、友達に説明したりする力を大切にすることで深い理解に繋がると考え、これからもそうした場面を積極的に取り入れていきます。

質問紙調査では、「タブレットなどのICT機器を活用できている(情報の収集、プレゼンテーション作成など)」と肯定的に答えている児童が90%を超えていました。また、多くの児童が「タブレットなどのICT機器を使うことで、友達と協力しながら学習を進めることができる」や「授業で、友達や周りの人の考えを大切に、協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と肯定的な回答をしています。教室という場で、他者との関わりを大切にしながら学習をしていくことは、本校が大切にしていることでもありますので、引き続き力を入れて取り組んでいきたいと思っています。

学校では、児童の様子などをホームページでお伝えしています。スマートフォンや携帯電話からもご覧になれますので、QRコードからは是非アクセスしてみてください。

